

4月1日から

## 運営体制が変わります

西脇病院は地方公営企業法の財務規定のみ適用していましたが、4月1日から組織や職員の身分の取り扱い等の規定についても市から移譲されることになりました。

これにより、経営に関する広範な権限が与えられるため、医療環境の変化や患者のニーズに対し、より柔軟で主体性を持った対応ができる運営体制になります。

適用範囲を広げることが診療機能を維持・強化することが目的であり、病院機能が変わるものではなく、患者さんがこれまで以上に安心して診療を受けていただくために行うものです。

今後も、公立病院の責務を果たし、地域に信頼される良質な医療の提供を目指しています。

# ふれあい広場

このページは市民の皆さんと一緒に作るページです。投稿・登場をお待ちしています。秘書広報課（市役所内線207）

## クローズアップ

今、「旬」の人や団体を紹介します。



市内で山田錦の栽培と日本酒の醸造を手掛ける  
株式会社アグリ九平治  
金子敦司さん

**若い人が魅力を感じる農業を実現したい**  
金子敦司さんは西脇市へ移住し、酒米作りをはじめ、日本酒の醸造までを手掛ける「ものづくり」に挑戦しています。  
\* \* \*  
埼玉県出身の金子さんは、大学の農学部で微生物を研究したことがきっかけで酒造りに興味を持ちました。卒業後は名古屋にある酒造会社・株式会社萬乗醸造に就職。フランスのワイン造りに影響を受け「おいしいお酒を造るには酒米作りから」と、平成22年から市内で自ら山田錦の栽培

期間より長く看護業務に従事した場合は、返還を全額免除します（ただし、大学などを途中で退学したり、卒業後1年を経過する日までに免許を取得しなかったりした場合は、貸与した修学資金を全額返還していただきます）  
▼申込締切 5月8日（金）  
▼申込み・問合せ 病院総務課（病院内線366）  
期間より長く看護業務に従事した場合は、返還を全額免除します（ただし、大学などを途中で退学したり、卒業後1年を経過する日までに免許を取得しなかったりした場合は、貸与した修学資金を全額返還していただきます）  
▼申込締切 5月8日（金）  
▼申込み・問合せ 病院総務課（病院内線366）  
増を始めました。  
地元の農家に協力してもらいながら、毎年春から秋にかけては西脇に住み込んで酒米作りに取り組み、冬になると名古屋に戻って、収穫した西脇市産の山田錦を100パーセント使用した大吟醸酒「黒田庄に生まれて」を造りました。平成26年に同社で農業生産法人・アグリ九平治が設立されると家族で西脇市へ移住。山田錦を栽培する傍ら、地元の祭りに参加したり、田植えや稲刈りなどを通して小学生に米作りや地元のことを教えたりするなど、地域との交流も積極的に行っています。  
2月には萬乗醸造が黒田庄町門柳の自社田前に建設を進めていた酒蔵が完成。新たな仲間も3人加わり、酒米作りから醸造まで一貫した「オール西脇市産」の日本酒造りをスタートさせます。金子さんは「米作りも酒造りも人が大切」、「若い人がやりたいと思える魅力ある農業をここで実現したい」と意気込みを語りました。

## 糖尿病教室

- ▼とき 4月24日（金）午後2時～3時／申込不要
- ▼ところ 病院講堂（2階）
- ▼内容 「はじめまして！糖尿病との付き合い方」一緒にみつめてみましょう」
- ▼持ち物 糖尿病手帳・運動継続カレンダー（お持ちの方のみ）
- ▼問合せ 内科（病院内線535）

## ひだまりサロン

がんの経験者やその家族が、お互いの悩みや不安、経験を語り合うサロンを開催します。お茶を飲みながら、思いを語ったり話を聞いたりして一息つきませんか。

- 参加者同士の交流のほか、ミニ講座も予定しています。
- ▼とき 4月22日（水）午後1時～3時／申込不要
- ▼ところ 病院講堂（2階）
- ▼対象 がん体験者とその家族（西脇病院の受診の有無は問いません。市外の方も可）
- ▼内容 ミニ講座「つらさを和らげてあなたらしく過ごす」がんの療養と緩和ケア」
- ▼問合せ がん相談支援センター（病院内線331）

## 健康バンザイ 166



血液内科  
松井 利充

### 骨髄不全と輸血療法

体が必要とする血液を心臓が十分に送り出せない状態を「心不全」と呼びますが、骨髄で血がうまく造れない状態は「骨髄不全」と呼びます。骨髄不全では白血球・赤血球・血小板の3系統の血球が減少します。白血球数が低下すると細菌を殺す力も低下し、感染症を発症すれば発熱がみられます。貧血では労作時に息切れなどの自覚症状が表れ、血小板減少時は点状の出血や青あざなどがみられます。

骨髄不全は白血病や抗がん剤治療でも生じますが、「再生不良性貧血」や「骨髄異形成症候群（MDS）」など、難治性貧血と呼ばれる病気の特徵でもあります。再生不良性貧血は未熟な血液細胞さえ造れない病気、MDSは未熟な血液細胞は存在するものの、

うまく血球が育たず、成熟した血球ができない病気です。前者には免疫抑制剤が有効ですが、薬が効かない重症例やMDSで白血病に移行する可能性が高い場合は、骨髄や臍帯血などの造血幹細胞移植を行います。これら2つは別々の病気と考えられてきましたが、ゲノム（全遺伝子）解析によって共通した遺伝子異常が生じていることが見つけられました。両者の区別がつかない時期もあり、最近では「自己免疫性骨髄不全」と診断されることもあります。

遺伝子異常の解析は進んでいます。しかし、高齢者では強力な免疫抑制剤の使用や移植治療は難しく、白血球・赤血球・血小板それぞれの産生を促す、顆粒球コロニー刺激因子（G-CSF）、エリスロポエチン、トロポポエチン（受容体作動薬）など造血ホルモン（類似薬）が重症例に用いられます。これらの治療効果が乏しい場合は、赤血球や血小板の輸血療法を行います。西脇病院では、通院で輸血療法が安全に実施できる体制を整えています。

市民の皆さんのまちづくり活動をご紹介します

## みんなでまちづくり♪

### 第41回頼政祭

- ▼とき 4月29日（水・祝）午前9時30分～正午ごろ
  - ▼ところ 長明寺（高松町）
  - ▼内容 よさこい踊り、礼射（弓道）、詩吟・剣舞、餅まきなど
  - ▼主催 頼政祭実行委員会
  - ▼問合せ 高松町区長・筒井俊明さん（☎22-5864）
- ### 岡の山まつり
- ▼とき 5月3日（日・祝）午前10時30分～午後1時ごろ
  - ▼ところ 岡之山公園（比延町）
  - ▼内容 飛田安兵衛翁顕彰祭、フリーマーケット、西脇東中学校吹奏楽部演奏、餅まきなど
  - ▼主催 岡の山まつり実行委員会

## いきいきにしわきっ子



かなめ  
後藤 叶芽  
2歳4ヵ月

元気に育ってね。  
直久・美子（和田町）

いきいきにしわきっ子を募集しています。写真と紹介文、連絡先を市役所2F秘書広報課へ郵送またはご持参ください。